

D-TIMES

[dementia times]

Vol.6

認知症ケア委員会

皆さん、こんにちは！そしてお疲れ様です！
まだまだコロナ禍の中で、感染を阻止するべく、スタッフ一丸で日々予防を徹底しながら利用者様と向き合っている事と思います。
さて、今回は昨年2019年度の認知症ケア委員会の活動を振り返って行きます。

①

第1回施設内勉強会開催！ 8月
認知症とは何なのか？認知症の特徴と症状など基本的知識について勉強しました。

皆さん、中核症状とBPSD覚えていますか

②

第2回施設内勉強会開催！ 10月
認知症予防 レッツ！コグニサイズ！



連日、大好評でしたー！ 現場で活用されているでしょうか

③

D-TIMES 創刊！
今やお馴染み D-TIMES は一年間で5刊を発行させて頂きました。

大好評で次はまたかの問い合わせが殺到・・・今後も認知症ケアについて発信して行きます



認知症ケア



会話に華を咲かすちょっとしたコツ！

1 話しかける時は正面から

予期していない所からいきなり話されてもビックリとするだけ。内容を理解する準備すら出来ません

2 目線を同じ高さにする



話す相手から見下ろされると威圧的で自分の立場が低いように感じてしまいがち。言い返すことが出来なくなってしまいます

3 低い声でゆっくりと

高齢者は周波数の高い音(高音)が聞き取り難くようになってくるんです。また早口で話されても何がなんだか分かりません

4 短い言葉で要点だけ

まず、要点を伝え相手の返事や行動を持ってから、それから理由や気持ちを伝えるのは如何でしょうか。自分の言いたい事だけを言いっぱなしはNGですよ

5 笑顔で優しく



「笑い」には人に安心感を与えてくれる力がありますね。緊張感がほぐれて気持ちが軽く！仲間意識も生まれてきますよ。

6 場所や話題を変える

同じ話題ではネタが無くて途切れ途切れ。話す内容に興味を持ってもらうためには場所を変えて、お互いの目に映る共通の物事を題材にしたら共感が得られるかも

【し・た・し・き・な・か】ネタに限界がきた時のヒント！

し：趣味 た：旅 し：仕事 き：季節 な：仲間 か：家族

全て当たり前のことですが、実際に出来ていますか？会話が上手く出来ることで、認知症の方のこころの休息や社会との接触を増やす要因となります。

ぜひ、日々の中で実践してみてください。 **レッツトライ！**